

積丹町

子どもの読書活動推進計画

—平成21年度—



積丹町教育委員会（生涯学習課）

1 読書活動の意義と現状

(1) 子どもの読書活動の意義

読書をすることは、人として生きていく上で、過去から未来へと向かって様々な出来事を知りえる機会と自分自身を見つめ対話をする機会とを与える有意義な活動であると言えます。また、読書をすることで幅広い人々とのコミュニケーション能力が養われ、様々な人々との関係を構築させる上で極めて有効な活動ともなります。

近年、小学校から国際理解のために「外国語教育」を行うことについて議論が為され、平成21年度から小学校5・6年生から指導要領の完全実施の前倒しとして「外国語(英語)」の授業を実施している市町村もあります。この議論の中でもっと「国語力」を子ども達に付けさせるべきではないかという意見がありました。児童・生徒の学力低下の原因として、文章の内容が理解できていないと言った「国語力」の低下が上げられています。この「国語力」を培うための基礎として、読書は大変有効な手段だと認識されています。

アナログからデジタルへと情報社会の変化が進み、子ども達を取り巻く生活環境も大きく変化させています。家庭用ゲーム機器、娯楽映像メディア、携帯電話、インターネット等の普及・発達、子ども達の興味・関心を多様なものにしています。

こうした環境の中で全国学力・学習状況調査の結果(平成21年度)から、小学校6年生・中学校3年生の読書時間は減少している傾向にあることがわかってきました。しかし、図書館での本の貸し出しは増加傾向にあることもわかり、「本好き」かそうでないかの二極化が進んでいることもわかりました。

積丹町の子ども達も例外とは言えません。次代を担う子ども達が、それぞれの発達段階に応じた読書活動ができるよう、その対策を講じ読書活動の推進に努めなければなりません。

(2) 積丹町の現状

積丹町では、各小学校・中学校の図書室及び積丹町総合文化センター(図書コーナー)に蔵書数としては揃ってはいますが、補修ないし廃棄しなければならないような古い本もあります。積丹町総合文化センター(図書コーナー)の蔵書整理・管理は、ボランティアに頼っています。また、図書コーナー自体も積丹町総合文化センター3階にあるため利便性について疑問視されています。家庭についても「読書」の場としての啓発活動が進んでおらず、「読書離れ」を加速しかねない状況にあるといえます。

このことから、家庭での読書活動や学校での学習活動についても十分配慮しつつ、読書計画を推進することが望まれます。

2 基本的な考え方

1 計画策定の目的

経済協力開発機構（OECD）の15歳児を対象とした読解力調査の結果、諸外国等に比べて読書に対する意識の低さが目立っています。ここ数年、学校では「朝読書」を行う学校が増え、子ども達の「活字離れ」に歯止めをかけようとしています。同じく全国学力・学習調査の調査結果（平成21年度）から、「国語・算数の好きなまた、役立つ」と考えている児童・生徒の得点が高かったことから、読書をとおして国語に対する興味・関心を持たせることは意義のあることと考えます。また、読書を数十分することで、集中力が高まったという研究結果もあり、学習意欲と授業に対する集中力を高め学力の向上にも繋がると言われています。

活字についての興味は、早い時期からの関心を持たせることが大切だと考えられています。幼児期からの「読み聞かせ」等が、将来の「読書好き」な子どもを育てることに大きな指標となります。また、国会決議で2010年を国民読書年と定め、国民一人ひとりに読書に対する意識の啓発を行うことが急務となっています。

積丹町についても早い時期からの「読み聞かせ」等の事業を行い、子ども達の「読書」に興味関心を持たせることを目的とした「積丹町子ども読書推進計画」を策定しました。

2 計画の目標

- ① 子どもたちが、読書習慣を身につけるための環境づくり
- ② 学校・家庭・地域・関係機関が連携した読書活動の推進
- ③ 読書に親しむための機会の提供
- ④ 読書の楽しさを伝える啓発活動

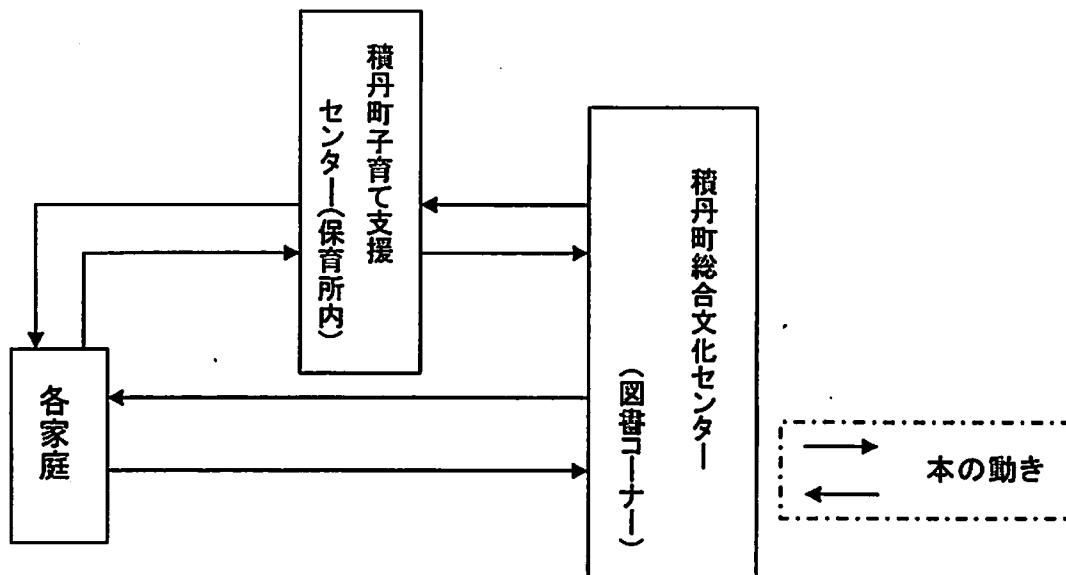
3 計画の期間と推進委員組織

平成21年度から関係機関と連携し順次、実施できる計画を進めます。平成22年度から単年度毎に計画を見直しながら取り組みを推進します。

計画推進に併せて推進委員の育成を行い、併せて「積丹町子どもの読書推進委員会（仮称）」の設置をします。

4 関係機関との連携

(1) 積丹町総合文化センター(図書コーナー)及び積丹町子育て支援センター(保育所内)について



積丹町総合文化センター内図書コーナーの蔵書を積丹町子育て支援センター(保育所内)に置き、来所した保護者に貸出しを行います。併せて、本の紹介を行い貸出し数及び、図書コーナー(積丹町総合文化センター内)の利用率を増やし、各家庭での読書の機会を推進します。

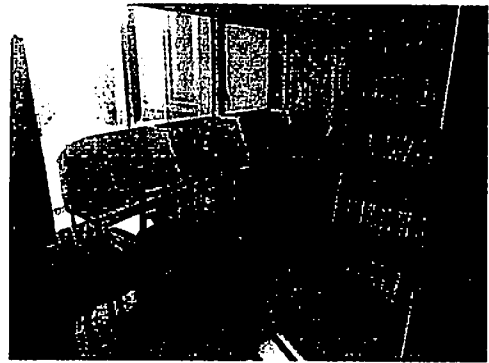
※ 別紙、資料1・2の内容と貸出し簿にて実施

(積丹町子育て支援センター計画実施要項等)

(2) 積丹町読書活動関係団体「くろねこかあさんの会」との連携について

積丹町読書活動関係団体「くろねこかあさんの会」との連携することで、健診保護者及び、保育所での「読み聞かせ」等の推進を行います。また、各小・中学校での国語の時間等で「読み聞かせ」等を行い、児童・生徒に本の紹介と読書への興味・関心を持たせ啓発活動を推進します。

■ 積丹町総合文化センター内の図書コーナー



■ 積丹町子育て支援センターの図書コーナー

